

# KAPPA BUSINES



## 第27期事業報告書

平成16年6月1日から平成17年5月31日まで

証券コード：7421

カッパ・クリエイト 株式会社



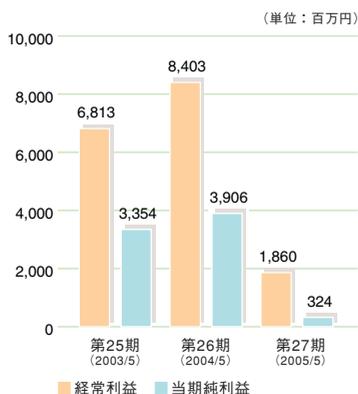
きどらぬ普段がある。  
いつもと変わらぬ箸との生活がある。

家族でテーブルを囲みながら、次から次へと回ってくるバラエティ豊かなお寿司を前に「次は何を食べようかな」と目を輝かせる至福のひとつ。それは、食べたいものを好きなだけ食べられる回転寿司の魅力を、低価格で高品質な商品で提供する「カッパ・クリエイト」の願いそのものです。これまで日本全国にカジュアルなお寿司の文化を広めてきた「かっぱ寿司」のお寿司は全て1皿100円（税込み105円）。ロープライスとアメニティの両立が、新しい食のおいしさと喜びをお約束します。

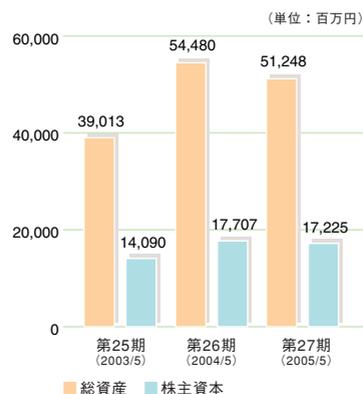
■ 売上高の推移



■ 経常利益・当期純利益



■ 総資産・株主資本



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび代表取締役社長に就任いたしました山下昌三でございます。当社第27期（平成16年6月1日から平成17年5月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

わが国の外食産業は、全体的な流れとして、大きな企業間競争の時代に突入しております。景気回復の動きが明確に見えてこない中で、当期においてはアテネオリンピックや度重なる台風上陸など、個人の外出機会が減少する要因が多かったこともあり、外食産業全体としても厳しい状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、競争の時代を乗り切るために、食材のグレードアップやボリュームアップなどの施策を積極的にとってまいりました。また不採算ブランドや非効率店舗の撤退、経費節減および仕入率の改善など、損益管理を厳しく徹底してまいりましたが、当連結会計年度の業績は、売上高656億20百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益18億60百万円（同77.9%減）、当期純利益3億24百万円（同91.7%減）となり、売上はほぼ横ばいをキープしたものの、利益に関しては前期と比較して落ち込む結果となりました。食材にかかるコスト増加による粗利益の低下がおもな原因ですが、人材教育の不足によるサービスの低下がお客様離れにつながった側面も見逃せないと厳しく認識しております。

今後につきましては、景気の先行きは予断を許さないものがあり、外食産業においては、コンビニ、スーパー、中食マーケット等との業態を超えた企業間競争が激化すると思われまます。当社グループは「店舗付加価値の向上」、「利益獲得力の向上」、「社員教育の徹底によるサービスの向上」等を喫緊の課題として解決すべく、組織体制を一新いたしました。

今後は新体制のもと、事業基盤の強化、経営の効率化と収益拡大を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年8月



代表取締役社長  
山下 昌三

# カッパ・クリエイトグループは 3つの業態で 新しい食文化を創造します。

## 高品質で低価格な食を通じて社会に貢献

昭和48年8月に創業した「かっぱ寿司」は、昭和54年から回転寿司のチェーン展開を開始いたしました。その後、平成11年4月以降は大型店の出店を展開。現在では北海道、四国、九州を除く1都2府20県に店舗を持つナショナルチェーンとなりました。また、さらなる飛躍を遂げるために、平成8年に手打ちうどん「得得」を子会社化。平成15年からは惣菜を中心とした新業態の「かっぱ厨房」が加わり、3つの業態で運営しております。今後も高品質な商品・サービスを低価格で提供することをモットーに、食を通じて社会に貢献してまいります。



## カッパ・クリエイト



# かっぱ瓦版



ファミレス感覚で楽しめる  
大型店を積極的に推進

## かっぱ寿司

カッパ・クリエイトでは時代の変化・市場動向をいち早くキャッチし、座席数130席以上の大型店の出店を積極的に推進しています。厳選した新規出店を進める一方、従来型の小型店のスクラップ&ビルドに着手し、平成17年5月末現在、全290店舗のうち100席以上の大型店舗が全体の約95%を占めております。

大型店は、家族連れにうれしいファミリーレストラン感覚で利用できるボックス席が主体となっています。お子様連れやグループでの利用はもちろん、高齢のお客様のニーズに応えるバリアフリー仕様に徹した快適な店舗とし、客層の拡大と利用頻度の向上に努めています。また大型の駐車場を完備し、混雑する休日やお昼時の空席待ちの心配も回避するなど、ゆっくりお食事が楽しめる雰囲気づくりを心がけています。





## 食の楽しさがさらに広がる バラエティーコーナーを設置

現在、既存店の一部と新店舗では、麺類（うどん、そば、ラーメン）やお子様用のデザート、鶏唐揚など寿司以外のメニューを自由に選べるバラエティー



コーナーの設置に力を注いでいます。「お寿司を食べた後のラーメンがたまらない」「お寿司だけでは飽きてしまう子どもたちも楽しめる」とお客様からもご好評を得ています。今後も本格的な設置拡大を目指していきます。

高品質・低価格を実現するのは独自のローコストオペレーションによります。本社での一括した物流コントロール、セントラルキッチンでの一括加工のほか、科学的根拠からマニュアル化された寿司コンベアを駆使することで収益を上げています。またパート・アルバイトを活用した効率的な店舗運営もその一環。例えば150席規模の「かっぱ寿司」では、社員3名、パート・アルバイトは60～70名。待席の状況は、正面に空席パネルを配し、お客様の細やかな要望に従業員が迅速に対応できる体制を整え、サービスの向上を図っています。

## いつも新しい出会いがある多彩なメニューの数々

回転寿司の楽しさの一つに、ネタの意外性やアイディアの豊富さがあります。「かっぱ寿司」では、定番メニューのグレードアップに加え、常にお客様のニーズにあった新メニューの開発を行っています。本年5月からは、やわらかな味と口当たりの「沖漬けいか」とほのかな醤油風味の「沖漬けえび」、そして本格江戸前の自信作「あぶり漬けまぐろ」が登場しています。さらに、旬の味を楽しめる「期間限定メニュー」は、メニューの活性化にもつながり、お客様の注目度も高まっています。そのほか全国展開のキャンペーンや各店ごとのプロモーション活動や祭り等、多彩な企画でファン拡大を図ります。（注）期間限定メニュー等は、現在販売されていないものがあります。



沖漬けいか



あぶり漬けサーモン



あぶり漬けまぐろ

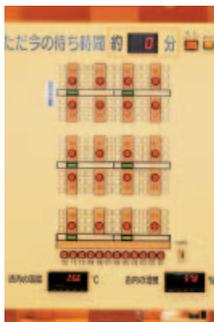


（右上から時計回りに）  
川崎市ノ坪店 北新横浜店 高津久末店 都岡店

— 今期の施策 —

## 経営理念は「お客様第一主義」 人材育成にも注力します

日本の伝統食である「寿司、うどん、惣菜」をより安く、雰囲気の良い店で提供することで、喜びをお客様と共有する。それが私たちの目標です。



## 全社員への教育を徹底し、 低価格で安心のサービスを提供します

全国どこのかっぱ寿司でも、低価格で安心のサービスを受けられる。お客様にそう思っただけのよう、かっぱ寿司では社員教育に力を入れています。集合研修としては、地区マネージャー研修や店長研修、主任研修、新入社員研修などを実施。また、全国から選抜された教育担当社員により、5箇所の教育店舗内で実際のオペレーションをしながらの研修も行います。「お客様第一主義」をモットーに、サービス向上のための標準的なマニュアル作りを進めています。

### Kビジョンとは

カップ・クリエイトは、お客様に喜びと満足を提供し、社員自ら改善改革、成長しながら、社会に必要とされ貢献し続ける競争力ナンバーワンの企業を目指す、という「Kビジョン」にそって社員教育を行っています。社員一人ひとりがビジョンを持つことが、結果的に「お客様第一主義」につながると考えるからです。

### 食材



#### グレードアップを維持

まぐろ、かんぱち、はまちなどネタのボリュームアップに加え、「本マグロ」、「ぼたんえび」など原価の高い食材や季節商品を取り入れ、お客様を飽きさせない商品施策に今後も積極的に取り組みます。一手間を惜しまない新感覚のオリジナル商品の開発に努めます。

### バラエティー コーナー



#### 今期中に5割以上設置

種類からスタートした寿司以外のメニューの充実・拡大に向け、様々な施策を投じていきます。現在、既存店約50店舗でバラエティーコーナーを設置し、お客様に喜んでいただける商品の一つひとつ見極め、今期中には5割以上の店舗に設置する予定です。

### 店舗規模



#### 座席数150席を標準化

駐車場のキャパシティや行き届いたサービス、お客様の満足度を考慮した結果、店舗規模に関して一番効率の良い座席数は150席と判断。店舗のオペレーションの見直しを図るとともに、今期は150席規模の店舗の出店を中心に、より効率的な環境を目指します。

## 鮮度重視、質の高いネタを効率的に提供する セントラルキッチン

大型回転寿司店「かっぱ寿司」の台所を一手に担うのが自社工場であるセントラルキッチン。上尾工場ではマイナス50度の冷凍設備を採用し、新鮮で高品質なネタの提供に努めています。

また各店舗でのネタごとの販売・在庫状況は、店舗POSを通じ、逐一、本部コンピューターで把握し物流をコントロールしています。発注業務や在庫管理は本部が一括。使用する寿司ネタは、セントラルキッチンで一括加工され、各店舗に自動的に配送されます。これによって、各店舗は仕入れや加工業務に煩わされることなく、店舗運営に専念できます。店舗、本部、製造工場、物流センターのネットワークシステムによる店舗作業のマニュアル化によって、大量出店が可能なローコストオペレーションが実現しているのです。



上尾工場



## 得得

### 得得瓦版

手打うどん職人  
**得得**

本格派手打ちうどんを  
ロープライスで提供

得得は、かっぱ寿司のロープライスポリシーと大型店舗戦略で培ったノウハウを生かし展開している手打ちうどん専門店。既存店舗の活性化を図るとともに、FC店舗の新規開拓にも地道に取り組んでいます。平成17年5月末の店舗数は直営店12店、FC店93店となりました。「とくの屋」では、「釜あげうどん」「ざるうどん」を400円、「かき揚げうどん」を500円、「えび天うどん」「カレーうどん」などを580円という低価格で販売しています。



## かっぱ厨房

### かっぱ厨房瓦版



新業態の実験店を設置  
中食のビジネスモデルを確立

常時100種類以上を揃える惣菜店「かっぱ厨房」は、業態の見直しを検討中。郊外型の立地条件では惣菜という中食は伸び悩むという現状を踏まえ、生活道路沿いに新たな形で実験店を設け、今後、じっくりと時間をかけて確固としたビジネスモデルを築いていきます。まずは、今年中に直営店を3店舗、FC店3店舗の成功に向け施策を重ねていきます。



# 日本各地にかっぱの輪が広がっています。

## 「かっぱ寿司」店舗一覧

### 東北

#### 青森県

下田イオン店 0178-50-3234

#### 宮城県

名取店 022-383-4132  
泉バイパス店 022-776-6866  
仙台長命ヶ丘店 022-377-1535  
仙台幸町店 022-292-8283  
仙台中野栄店 022-253-5521  
仙台長町店 022-304-5236  
古川店 0229-21-3606  
石巻店 0225-84-1646  
大河原店 0224-51-4511  
佐沼店 0220-21-5821

#### 福島県

原町店 0244-22-6536  
新相馬店 0244-35-6221  
郡山亀田店 024-921-0665  
いわき平店 0246-35-6295  
福島矢野目店 024-559-0538  
福島鎌田店 024-554-4131  
郡山さくら通店 024-995-5955  
いわき鹿島店 0246-76-0676  
会津若松店 0242-37-1278  
郡山南店 024-927-8722  
福島黒岩店 024-544-6831

### 関東

#### 茨城県

古河店 0280-30-8601  
竜ヶ崎店 0297-60-8160  
つくばアッセ店 0298-36-9728  
水戸見川店 029-257-6931  
土浦店 0298-35-8231  
水戸渡里店 029-303-1551  
守谷店 0297-21-1755  
下館店 0296-26-6855  
日立多賀店 0294-25-4177  
ひたちなか店 029-353-3438  
牛久店 029-878-3717  
高萩店 0293-20-5434

日立店 0294-44-7321

#### 栃木県

今泉福田屋店 028-623-4400  
宇都宮西川田店 028-615-2631  
宇都宮竹林店 028-600-7867  
小山店 0285-31-5455  
鹿沼店 0289-60-7612  
黒磯店 0287-73-2125

#### 群馬県

太田新井店 0276-46-7430  
桐生店 0277-70-6351  
富岡店 0274-70-2788  
三俣店 027-234-9197  
渋川店 0279-25-1126  
高前バイパス店 027-363-9662  
前橋天川店 027-290-2471  
前橋川原店 027-219-4151  
伊勢崎店 0270-50-7611  
太田石原店 0276-47-8223  
藤岡店 0274-50-1275

#### 埼玉県

草加店 048-946-7350  
深谷店 0485-72-2882  
幸手店 0480-40-5930  
新三橋店 048-624-9123  
川越店 0492-26-5340  
蓮田店 048-769-1232  
南中丸店 048-682-2331  
本庄店 0495-27-6610  
岩槻店 048-797-4888  
春日部店 048-738-2177  
鳩ヶ谷店 048-286-5879  
与野店 048-840-0425  
蕨店 048-430-6123  
越谷大里店 048-970-6224  
所沢店 042-929-6650  
三郷店 048-950-0064  
上尾店 048-780-7933  
北本店 048-590-5631  
久喜店 0480-29-2676  
越谷蒲生店 048-990-5517  
鶴ヶ島店 049-279-5315  
熊谷店 048-529-7735

入間店 04-2931-3451  
所沢北野店 04-2938-1117

#### 千葉県

君津店 0439-52-6222  
茂原店 047-520-4155  
佐倉店 043-462-3837  
袖ヶ浦店 0438-62-6674  
旭店 0479-64-1158  
鎌ヶ谷店 047-498-5731  
東金店 0475-55-4077  
銚子店 0479-25-4608  
野田店 0471-25-5007  
館山店 0470-24-4166  
南増尾店 0471-76-3232  
千葉幸町店 043-301-8231  
幕張店 043-213-2861  
市川陳大和田店 047-300-8421  
八千代店 047-458-7651  
千葉東寺山店 043-207-9950  
松戸店 047-703-3985  
流山店 04-7141-2281  
松戸五香店 047-704-5231  
市原店 0436-40-4021  
柏店 04-7137-5221  
船橋宮本店 047-460-1911  
四街道店 043-420-4511  
野田横内店 04-7126-1661

#### 東京都

田無アスタ店 0424-60-2120  
三鷹店 0422-76-4082  
練馬店 03-5945-8920

板橋店 03-5986-9621  
町田根岸店 042-789-7260  
足立環七店 03-5831-1361  
昭島店 042-549-1206  
小平店 0424-51-6331  
練馬貴井店 03-5971-2882  
武蔵村山店 042-590-0828  
足立谷在家店 03-5837-1361  
八王子店 0426-96-6488  
青宿店 03-5414-6561  
青梅店 0428-30-1036  
江戸川一之江店 03-5659-6025  
多摩松木店 0426-70-6020  
福生店 042-539-2361

#### 神奈川県

秦野ジャスコ店 0463-85-2124  
湘南東急店 0466-86-3983  
横浜戸塚店 045-827-2705  
相模大野店 042-742-5581  
川崎市ノ坪店 044-431-0881  
平塚店 0463-25-5037  
戸塚影取店 045-858-5303  
相模原共和店 042-786-7691  
高津久未店 044-753-0291  
大井町店 0465-85-0316  
都岡店 045-958-1855  
横浜笠間店 045-898-3400  
北新横浜店 045-533-3536

#### 山梨県

甲府向町店 055-228-6868  
甲府アルプス店 055-222-3232

河口湖インター店 0555-20-1125  
南アルプス店 055-280-8501

### 中部

#### 新潟県

達谷内店 025-270-7088  
新潟紫竹山店 025-290-2737  
長岡店 0258-31-3288  
新潟坂井店 025-211-0833  
上越店 025-527-3120  
新発田店 0254-32-6288  
三条店 0256-36-7351  
長岡西津店 0258-25-8870  
上越下門前店 025-539-0288  
白根店 025-371-5561

#### 長野県

上高田店 026-225-6038  
更埴店 026-273-8770  
上田店 0268-25-1728  
塩尻店 0263-86-3186  
下諏訪店 0266-26-3877  
南松本店 0263-24-2071  
新須坂店 026-248-1158  
佐久中込店 0267-63-5773  
中野店 0269-26-1797  
上田分店 0268-23-6711  
新飯山店 0269-63-1350  
北松本店 0263-47-9832  
豊科店 0263-72-9896  
長野稲田店 026-259-1253  
川中島店 026-284-8705  
諏訪インター店 0266-54-2167

#### 岐阜県

各務原店 0583-79-2118  
岐阜鏡島店 058-254-8501  
岐南店 058-259-6001  
岐阜又丸店 058-293-0390  
各務原蘇原店 0583-80-0180  
穂積店 058-329-5020  
大垣店 0584-83-0770  
柳津店 058-218-2525  
岐阜鷺山店 058-296-0766

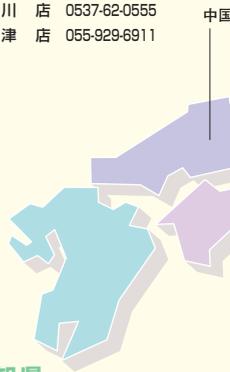
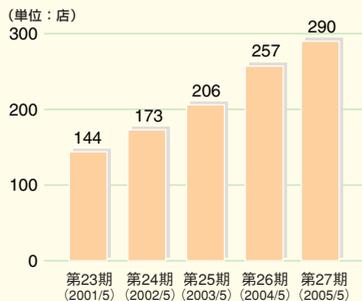
美濃加茂店 0574-23-2050  
多治見店 0572-21-2781

#### 静岡県

焼津店 054-656-1171  
清水店 0543-49-5161  
東静岡店 054-655-3066  
浜松東若林店 053-442-3339  
富士青島店 0545-55-2588  
浜松藤ヶ瀬店 053-422-3504  
三島店 055-991-1760  
藤枝店 054-647-6731  
浜北店 053-585-0481  
静岡有明店 054-202-2080  
富士宮店 0544-28-5261  
浜松頭陀寺店 053-411-5281  
袋井店 0538-45-2101  
磐田店 0538-21-1881  
掛川店 0537-62-0555  
沼津店 055-929-6911

#### 愛知県

稲沢店 0587-33-3019  
半田店 0569-25-7380  
鳴海店 052-878-7887  
豊橋飯村店 0532-66-3830  
名古屋瑞穂店 052-834-3101  
豊田店 0565-37-7745  
知立店 0566-84-5021  
岡崎店 0564-72-0815  
一宮大宮店 0586-28-8051  
春日井店 0568-86-5046  
名古屋東通店 052-659-1890





長久手店	0561-64-6191	有松店	052-629-5060
千種竹越店	052-719-5177	小牧店	0568-42-7701
蒲郡店	053-366-3115	春日井大留店	0568-53-3751
水主町店	052-350-4121	江南店	0587-51-6651
一宮インター店	058-675-0585	日進店	0561-74-7671
甚目寺店	052-462-0671	安城店	0566-96-0865
中川中島店	052-365-0861	岡崎大樹寺店	0564-27-1800
瀬戸店	0561-89-5361	名古屋守山店	052-739-2501
豊川店	0533-80-2891	東海店	052-689-0170
名古屋白壁店	052-930-6801	久保一色店	0568-42-2761
豊橋曙店	0532-39-0077	木曾川店	0586-84-2055
津島店	0567-22-6933	師勝店	0568-26-2275
弥次工店	052-618-3280	新川店	052-408-0326

### 三重県

四日市日永店	0593-47-6030
津店	059-213-7075
桑名店	0594-33-0525
松阪三雲店	0598-56-9320



鈴鹿店	0593-81-2150	茨木宇野辺店	0726-25-8611
四日市松原店	0593-61-5746	長吉長原店	06-6701-0391
伊勢御園店	0596-20-5871	八尾店	0729-92-2081
名張店	0595-62-3115	堺石津店	0722-43-6286
鳥羽店	0599-21-1035	松原店	0723-38-1501
松阪大黒田店	0598-25-6011	四條畷店	072-876-2053
津葉真店	059-236-5036	泉大津店	0725-43-9651
久居店	059-254-5556	南津守店	06-6655-3126
		豊中庄内店	06-4867-7737
		生野店	06-6756-7480
		寝屋川店	072-801-7172
		豊中服部店	06-6867-5606
		守口店	06-6916-1044
		岸和田店	0724-29-1202
		堺もす店	072-276-0511
		貝塚店	0724-30-6736
		堺向陵店	072-240-2071
		箕面店	072-720-0085
		寝屋川太薬店	072-811-3373
		東住吉店	06-4302-7110
		泉北店	072-295-5378
		阪南店	0724-70-2805
		八尾高美店	0729-25-8558

### 近畿

#### 滋賀県

栗東店	077-554-9711
大津尾花川店	077-511-3266
近江八幡店	0748-31-3404
長浜店	0749-68-5611
八日市店	0748-20-0990

#### 京都府

伏見店	075-602-1401
西京極店	075-321-0893
向日店	075-924-1711
宇治店	0774-25-6781
河原町三条店	075-213-8833
福知山店	0773-25-4151
亀岡店	0771-29-0180
八幡店	075-972-2209

#### 大阪府

枚方店	072-898-7788
東大阪店	0729-84-7605
兵庫県	
伊丹店	0727-78-3456
尼崎店	06-4868-4735
尼崎インター店	06-4961-5731
明石店	078-920-1614
神戸須磨店	078-739-7261
加古川店	0794-56-9546
姫路土山店	0792-99-5550

[お願い]

出店・閉店・移転等に伴い、2005年7月31日以降につきましては、公式ホームページをご参照願います。  
「得得」「とくのや」「かっぱ厨房」は、除いていますのでご了承願います。

かっぱ寿司公式ホームページ  
(アドレス)

<http://www.kappa-create.co.jp>



垂水舞子店	078-787-3988
赤穂店	0791-46-2888
神戸菊水町店	078-574-0025
大蔵谷店	078-978-0990
伊丹池尻店	072-775-6155

### 奈良県

大和高田店	0745-53-7110
香芝店	0745-71-8201
橿原店	0744-21-1885
奈良法華寺店	0742-30-5858
王寺店	0745-33-5220

### 中国

#### 山口県

阿知須S.C店	0836-66-0131
---------	--------------



## 営業の概況(連結)

### 営業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国、中国を中心とした輸出の増加や企業収益の改善による設備投資の増加等により景気回復の動きも見受けられましたが、夏季からの原油価格の高騰や円高に加え、個人消費が落ち込み、さらに、新潟県中越地震により、建物の倒壊、交通マヒなど人的、物的被害が発生し、景気は踊り場的な局面を迎えたまま推移してまいりました。

外食産業におきましては、消費不況の中、アテネオリンピックや記録的な台風上陸回数等により、外出機会の減少が見られ来客数への悪影響の要因となりました。また、個人消費の不振から相変わらず市場規模も縮小傾向の中で推移しており、企業間での競争は厳しさを増し、一部高額商品の需要は高まっているものの、一般的には消費マインドの冷え込みは、依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境の中で当社グループは、既存店売上の底上げを図るため、それぞれ事業採算の確立に向けて不採算ブランドや非効率店舗の撤退、経費節減および仕入率の改善等、その損益管理を厳しく徹底させるとともに、グループ役員および従業員の意識改革に取り組んでまいりました。また、新事業につきましても、いずれも売上規模は小さいもののブランドイメージの浸透と新規顧客獲得に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高656億20百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益18億60百万円(同77.9%減)、当期純利益3億24百万円(同91.7%減)となりました。

次期におきましては、回復基調にあった国内景気に減速感が広がる中、原油高に加え円高が徐々に進行してきており、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。外食産業におきましては、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、中食マーケット等との業態を超えた企業間競争が激化するものと思われま。さらに、長引くBSE問題や新たにノロウイルスによる食中毒などの影響で安全性、品質管理などを確保するための体制構築が求められております。

このような状況の中、当社グループの早急に対処すべき課題は、店舗付加価値の向上と収益・利益獲得力の回復であります。成長の原動力はあくまで既存店と考え、既存店の価値向上に集中させ、値ごろ感で集客力を強化し、インパクトのある商品提供により、客単価アップを促すという複合的戦略を実行してまいります。

そのためには、組織体制の抜本的改革、新業態のメニューの抜本的な見直し、コスト構造の抜本的な改善、仕入および物流システムの抜本的改革などを実行していく体制を確保し、また、新規出店についても出店主管部である開発部の増員強化などにより、綿密な商圈分析に基づき出店候補地の幅を広げ、高速出店再開に向けた体制づくりを進めてまいります。

新業態への挑戦など諸施策は、新しい組織体制のもと、売上高変動の克服および原価の低減ならびに販売費・一般管理費の削減により収益力の改善等社員の意識改革を図りながら、事業基盤の強化、経営の効率化と収益拡大を目指してまいります。

うどん事業につきましても、当期より新業態店舗「かっぱ厨房」のフランチャイズ展開を開始しております。今後は、商品開発や諸実験で養ったノウハウを生かしたFC展開に取り組むとともに、自社製造の強みを生かした生産コストの低減を図ることにより、新たな収益の柱の構築を行い、景気に左右されにくい企業体質への改善を図ることで、当社グループ成長の第2ステージに向け、収益拡大を目指してまいります。

以上により、平成18年5月期の連結会計年度売上高678億円(前期比3.3%増)、連結経常利益26億円(同39.70%増)、連結当期純利益6億50百万円(同100.4%増)を見込んでおります。

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成16年6月1日 至平成17年5月31日)	(自平成15年6月1日 至平成16年5月31日)
<b>経常損益の部</b>		
営業損益の部		
売上高	65,620	64,030
売上原価	26,214	23,596
販売費及び一般管理費	37,269	31,779
営業利益	2,137	8,654
営業外損益の部		
営業外収益	178	120
受取利息	58	48
その他の	120	72
営業外費用	455	371
支払利息	240	277
その他の	214	93
経常利益	1,860	8,403
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	182	—
前期損益修正益	16	—
投資有価証券売却益	165	—
特別損失	1,217	600
固定資産売却損	59	28
固定資産除却損	734	238
賃借設備解約損	141	113
リース資産処分損	230	74
役員退職慰労金	22	—
過年度減価償却費	—	90
退職給付会計基準変更時差異処理額	23	23
その他の特別損失	5	30
税金等調整前当期純利益	825	7,803
法人税、住民税及び事業税	740	4,104
法人税等調整額	△ 239	△ 162
少数株主損失(△)	—	△ 45
当期純利益	324	3,906

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (平成17年5月31日現在)	前 期 (平成16年5月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>14,896</b>	<b>19,015</b>
現金及び預金	11,130	17,079
受取手形及び売掛金	112	107
たな卸資産	913	604
繰延税金資産	131	427
未収還付法人税等	1,299	—
未収入金	204	201
その他の	1,116	607
貸倒引当金	△ 13	△ 11
<b>固 定 資 産</b>	<b>36,352</b>	<b>35,464</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,017</b>	<b>23,392</b>
建物及び構築物	25,360	22,782
機械装置及び運搬具	711	—
工具器具及び備品	2,559	2,269
土地	3,585	3,585
建設仮勘定	44	926
その他の	—	17
減価償却累計額	△ 8,244	△ 6,189
<b>無形固定資産</b>	<b>311</b>	<b>303</b>
営業権	—	0
連結調整勘定	38	48
その他の	272	255
<b>投資その他の資産</b>	<b>12,023</b>	<b>11,767</b>
投資有価証券	507	1,163
繰延税金資産	979	376
敷金及び差入保証金	9,176	8,933
その他の	1,533	1,441
貸倒引当金	△ 173	△ 147
<b>資 産 合 計</b>	<b>51,248</b>	<b>54,480</b>

科 目	当 期 (平成17年5月31日現在)	前 期 (平成16年5月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流 動 負 債</b>	<b>12,200</b>	<b>13,812</b>
買掛金	2,524	2,146
短期借入金	—	13
一年内返済予定長期借入金	6,050	5,332
未払金	1,164	1,219
未払費用	2,200	1,818
未払法人税等	104	2,652
未払消費税等	62	542
その他の	93	89
<b>固 定 負 債</b>	<b>21,822</b>	<b>22,959</b>
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	11,180	12,537
預り保証金	70	73
退職給付引当金	378	289
その他の	193	59
<b>負 債 合 計</b>	<b>34,022</b>	<b>36,772</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資 本 金</b>	<b>4,184</b>	<b>4,166</b>
<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>3,205</b>	<b>3,187</b>
<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>9,911</b>	<b>10,274</b>
<b>株式等評価差額金</b>	<b>△ 23</b>	<b>78</b>
<b>自 己 株 式</b>	<b>△ 53</b>	<b>△ 0</b>
<b>資 本 合 計</b>	<b>17,225</b>	<b>17,707</b>
<b>負 債 、 資 本 合 計</b>	<b>51,248</b>	<b>54,480</b>

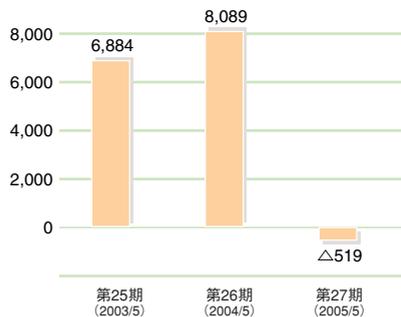
## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期		前 期	
	（自平成16年6月1日 至平成17年5月31日）		（自平成15年6月1日 至平成16年5月31日）	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	519		8,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	4,152	△	8,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,258		10,063
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△	5,931		9,834
現金及び現金同等物の期首残高		16,976		7,141
現金及び現金同等物の期末残高		11,045		16,976

## ■ 営業活動によるキャッシュ・フローの推移

（単位：百万円）



## ■ 連結剰余金計算書

（単位：百万円）

科 目	当 期		前 期	
	（自平成16年6月1日 至平成17年5月31日）		（自平成15年6月1日 至平成16年5月31日）	
（資本剰余金の部）				
資本剰余金期首残高		3,187		3,125
資本剰余金増加高				
増資による新株の発行	17	17	62	62
資本剰余金期末残高		3,205		3,187
（利益剰余金の部）				
利益剰余金期首残高		10,274		6,915
利益剰余金増加高				
当期純利益	324	324	3,906	3,906
利益剰余金減少高				
配当金	590		420	
役員賞与	96	687	127	548
利益剰余金期末残高		9,911		10,274

# 営業の概況(単体)

## 営業の経過及び成果

回転寿司事業におきましては、昨年12月より、一般的な寿司ネタだけにこだわらず、メニューの幅を持たせるため、惣菜・麺類を販売するバラエティーコーナーを設置し、飽きのこないメニュー構成で地域顧客の来店頻度を高めてまいりました。また、バラエティーコーナーの設置に伴い、子法人等商品の「そば」「うどん」「餃子」「トンカツ」などの導入も可能になり、このような仕入戦略が企業発展に一段と大きく関与し、仕入コストの削減、仕入システムの抜本的改革も進めてまいりました。

なお、宣伝活動といたしましては、従来のテレビコマーシャルから一部チラシ折込みに変更し、来店頻度を目的とした積極的な宣伝活動を図ってまいりました。

この結果、当期の売上高は、620億77百万円となり、前期に比べ4.5%増となりました。

## 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成16年6月1日 至平成17年5月31日)	(自平成15年6月1日 至平成16年5月31日)
<b>経常損益の部</b>		
営業損益の部		
売上高	62,077	59,399
売上原価	24,978	21,594
販売費及び一般管理費	34,442	28,378
営業利益	2,656	9,426
営業外損益の部		
営業外収益	304	130
営業外費用	286	325
経常利益	2,675	9,231
<b>特別損益の部</b>		
特別利益	182	4
特別損失	2,000	284
税引前当期純利益	857	8,951
法人税、住民税及び事業税	713	4,077
法人税等調整額	△ 239	△ 222
当期純利益	384	5,097
前期繰越利益	1,271	861
当期末処分利益	1,655	5,959

## 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成17年5月31日現在)	(平成16年5月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,709	17,847
固定資産	34,886	34,345
有形固定資産	22,702	21,061
無形固定資産	251	225
投資その他の資産	11,932	13,057
資産合計	49,596	52,192
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,950	12,373
固定負債	20,114	20,865
負債合計	31,064	33,238
<b>資本の部</b>		
資本金	4,184	4,166
資本剰余金	3,205	3,187
利益剰余金	11,217	11,520
株式等評価差額金	△ 23	78
自己株式	△ 53	△ 0
資本合計	18,531	18,953
負債・資本合計	49,596	52,192

## 利益処分

(単位:円)

科 目	金 額
当期末処分利益	1,655,986,039
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金	590,373,595
1株につき35円 (普通配当15円 特別配当20円)	
次期繰越利益	1,065,612,444

# 会社概要

(2005年5月31日現在)

商号	カッパ・クリエイト株式会社
創業	昭和48年8月
設立	昭和58年8月29日
資本金	41億8,479万円
従業員数	944名
本社所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地16 シーノ大宮ノースウイング14階 Tel 048-650-5100 (代表)
工場等	上尾工場 埼玉県 関東商品管理センター 埼玉県
事業内容	1. 飲食店の経営 2. 食料品の加工及び販売 3. 損害保険代理業 4. 不動産の売買、賃貸借及びその仲介業
主な取引銀行	(株)みずほ銀行 (株)UFJ銀行 (株)三井住友銀行 (株)千葉銀行

## 役員 (2005年8月29日現在)

代表取締役会長	徳山 淳和
代表取締役副会長	荒木 操
代表取締役社長	山下 昌三
専務取締役	渡辺 忍
常務取締役	池端 伸穂
常務取締役	岩村 克己
常務取締役	徳山 桂一
取締役	清水 助一郎
取締役	峯村 誠
取締役	鳥羽 喜幸
取締役	宇田 猛
取締役	渡辺 博直
監査役(常勤)	藤沢 清
監査役	鈴木 勝治
監査役	渡辺 隆三
監査役	友竹 敏幸

監査役渡辺隆三及び友竹敏幸の両氏は「株式会社  
の監査等に関する商法の  
特例に関する法律」第18  
条第1項に定める社外監  
査役であります。

## 大株主

(2005年5月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
株式会社ジェム・エンタープライズ	5,400,000株	32.01%
徳山 淳和	949,600	5.63
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	790,000	4.68
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	557,900	3.31
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	326,950	1.94
バンクオブニューヨークジーシーエム クライアントアカウンツィーアイエスジー	309,700	1.84
ドイチェバンクアーゲーロンドンビー ビーノトリティークライアントツ613	295,600	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	293,800	1.74
エイチエスビーシーバンクビーエルシー クライアントツノンタックストリート	228,300	1.35
荒木 操	200,000	1.19

## 連結子会社の会社概要(株式会社得得)

所在地	
本社	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地16 シーノ大宮ノースウイング14階 TEL.048-646-4561
東日本営業部	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地16 シーノ大宮ノースウイング14階 TEL.048-646-4561
西日本営業部	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田2丁目8番地31 第三東洋ビルディング401号 TEL.06-6375-9131
設立	昭和54年2月
資本金	5億7,500万円 カッパ・クリエイト株式会社100%出資
事業内容	うどん、そば、惣菜を中心とした食堂経営ならびに そのフランチャイズビジネス
主要取引金融機関	(株)みずほ銀行 (株)UFJ銀行 (株)三井住友銀行
代表取締役社長	乾 光宏
加盟団体	(社)日本フランチャイズ・チェーン協会正会員

## 株主メモ

決算期	毎年5月31日
定時株主総会	毎年8月
株主確定基準日	毎年5月31日
名義書換代理人	その他必要があるときはあらかじめ公告します。 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
(郵便物送付先) 電話照会先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711
同取次所 公告掲載新聞	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 日本経済新聞

当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ (<http://www.kappa-create.co.jp>) に掲載いたしております。

1単元の株式の数 50株

## お知らせ

○株式に関するお手続き用紙のご請求について  
株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479 (UFJ信託銀行本店証券代行部) } 通話料無料  
0120-684-479 (UFJ信託銀行大阪支店証券代行部)

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご紹介下さい。

○平成17年10月1日より、当社名義書換代理人は合併により次のとおりとなります。

名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
同連絡先	東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

## ご優待のお知らせ

当社では、50株以上ご所有（毎年5月31日現在）の株主様に対し、当社専用の「株主優待御食事券」を発行いたしております。株主様のお近くの「かっぱ寿司」「得得うどん」「とくの屋」「かっぱ厨房」で、当社グループが全国展開を進める味覚をご賞味いただきます。ご意見を頂戴できれば幸いです。また、前期にデザインを一新いたしました「株主優待御食事券」は、より使いやすい500円券の2枚綴りとなっております。優待枚数は下記をご参照ください。



50株以上500株未満	500円券	10枚
500株以上1,000株未満	500円券	20枚
1,000株以上	500円券	40枚



## カッパ・クリエイト 株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-16 シーノ大宮 ノースウイング14階  
TEL.048-650-5100 (代)

<http://www.kappa-create.co.jp>



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています